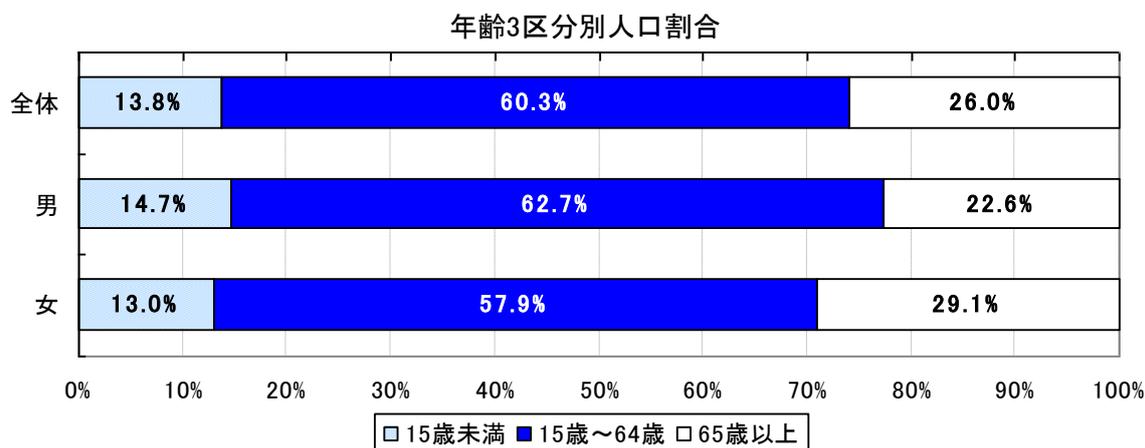


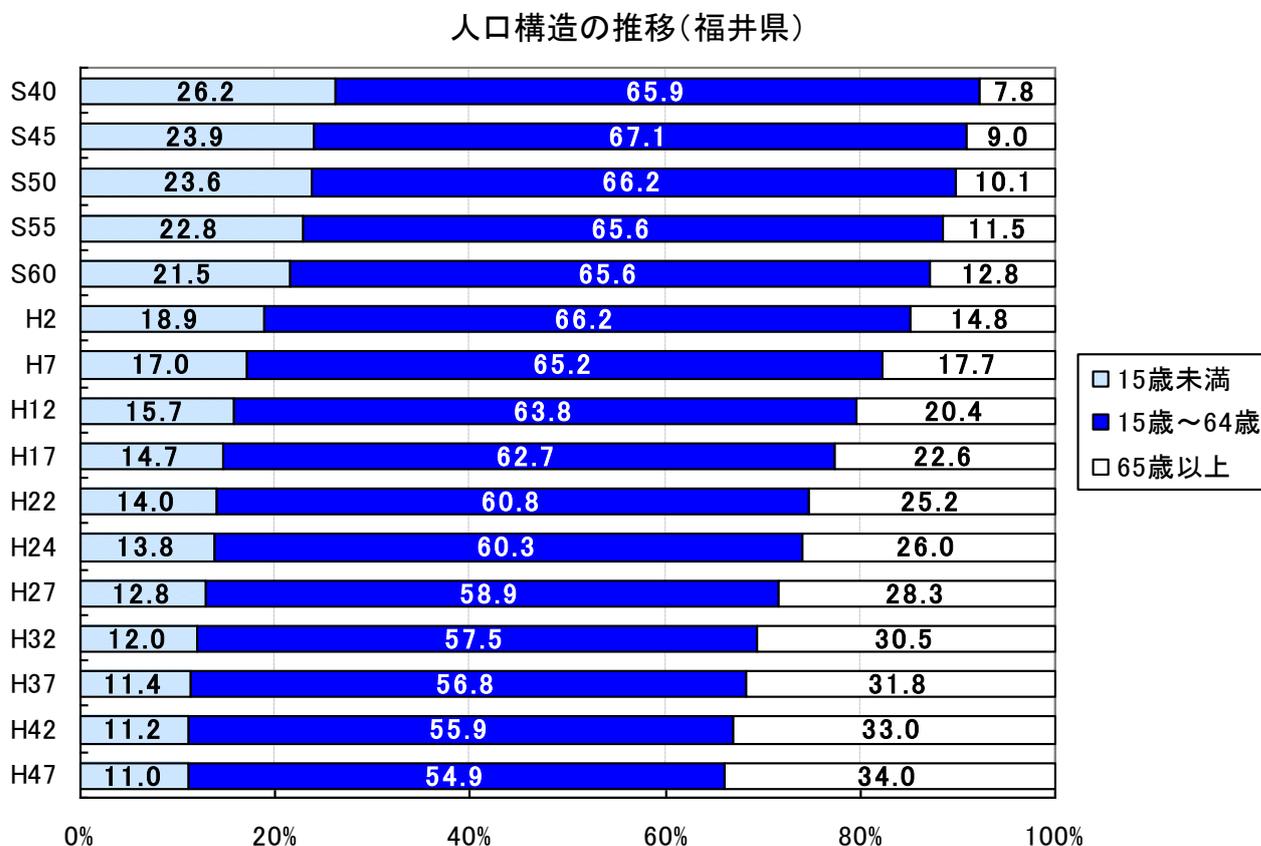
2 人口構造の推移

福井県の平成 24 年 10 月 1 日現在の年齢区分別の人口割合を見ると、15 歳未満の年少人口は 13.8%、15～64 歳の生産年齢人口は 60.3%、65 歳以上の老年人口は 26.0%となっています。年少人口の割合が減少し、生産年齢人口および老年人口の割合がともに増加しています。男女別でみると、女性の老年人口の割合は 29.1%で、男性の 22.6%より高く、より高齢化が進んでいます。

また、推計人口による今後の人口構造の推移によると、平成 47 年には老年人口が 34.0%になると予測されており、高齢化が今後ますます進むことが予想されます。



資料出所： 県政策統計課「福井県の年齢別人口（推計）」
(平成 24 年 10 月 1 日現在)

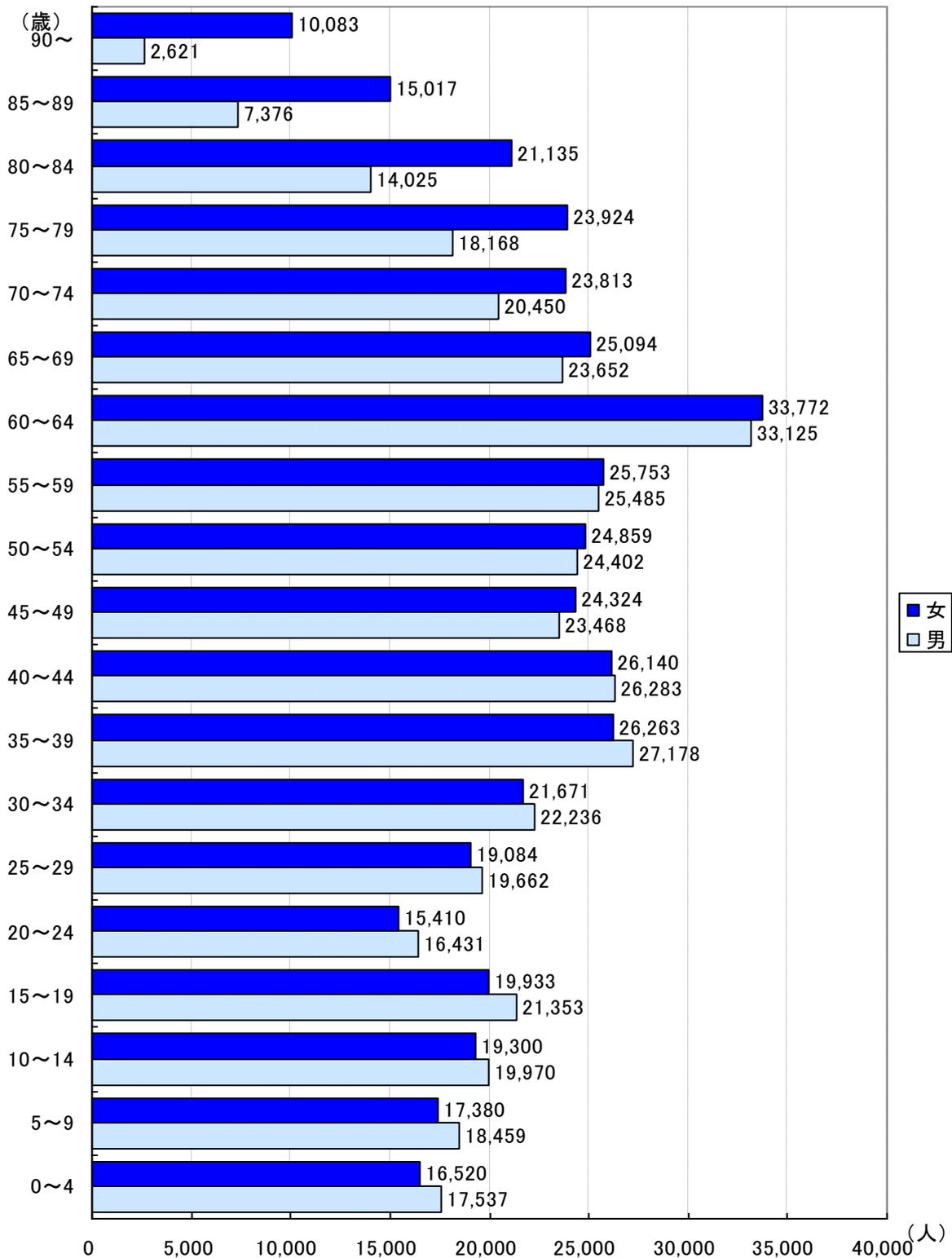


資料出所：～H22 年は総務省「国勢調査」、
H24 は県政策統計課「福井県の年齢別人口（推計）」(平成 24 年 10 月 1 日現在)
H27 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口」(H19.5 推計)

65歳未満の階級では、男女数の格差はそれほど大きくありませんが、65歳以上では高年齢階級になるに従い男性人口に比べて女性人口が多くなっており、高齢者に占める女性の割合が高くなっています。

また、20歳未満の低年齢階級では、出生数が減少し続けていることから、低年齢になるに従い男女ともに人口が減少しています。

年齢階級別人口(男女別)



資料出所：県政策統計課「福井県の年齢別人口(推計)」
(平成24年10月1日現在)